

「広聴広報に関するアンケート」の実施結果報告

「広聴広報に関するアンケート」の実施結果を次のとおり報告します。
アンケートにご協力下さいました回答者の皆さまに厚く御礼申し上げます。
アンケート結果につきましては、今後の広聴広報業務の参考とさせていただきます。
なお、アンケートの設問や集計結果については、下のURLをご覧ください。
<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top;result&id=188>

アンケートの概要

1 アンケート実施期間

平成27年2月20日（金）から3月6日（金）まで

2 回答状況

対象者数 1,176人
回答者 703人
回答率 59.8%

3 回答者の属性

性別 【男性 388人（55.2%）】 【女性 315人（44.8%）】

年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	69人	135人	168人	158人	144人	29人
割合	9.8%	19.2%	23.9%	22.5%	20.5%	4.1%

地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	347人	199人	86人	54人	17人
割合	49.4%	28.3%	12.2%	7.7%	2.4%

*北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡
中勢：津市、松阪市、多気郡 伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡
伊賀：名張市、伊賀市 東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡 南牟婁郡

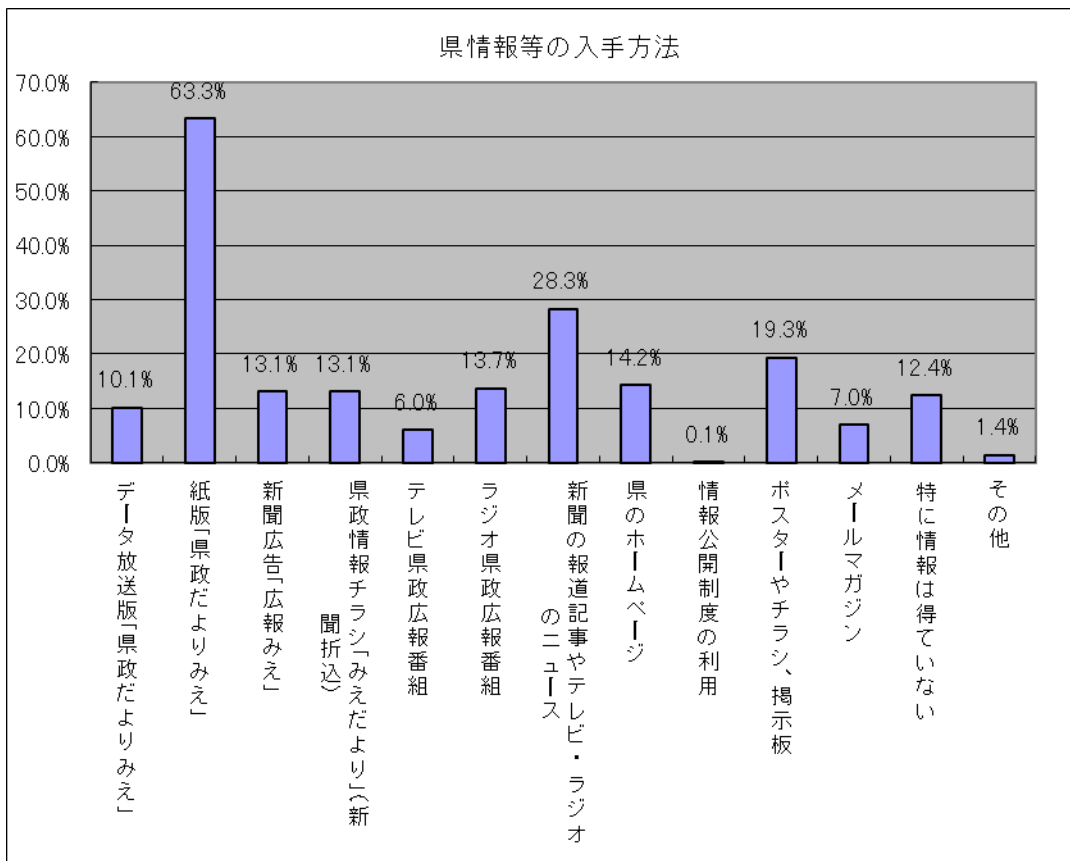
アンケートの結果

【設問 1】現在の県情報等の入手方法について

県の事業やイベントなどの情報源については、「紙版『県政だより みえ』」が 63.3%と最も多く、次いで、「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュース」が 28.3%、「ポスターやチラシ、掲示板」が 19.3%などとなっています。平成 26 年 4 月から開始した「データ放送版『県政だより みえ』」は 10.1%でした。

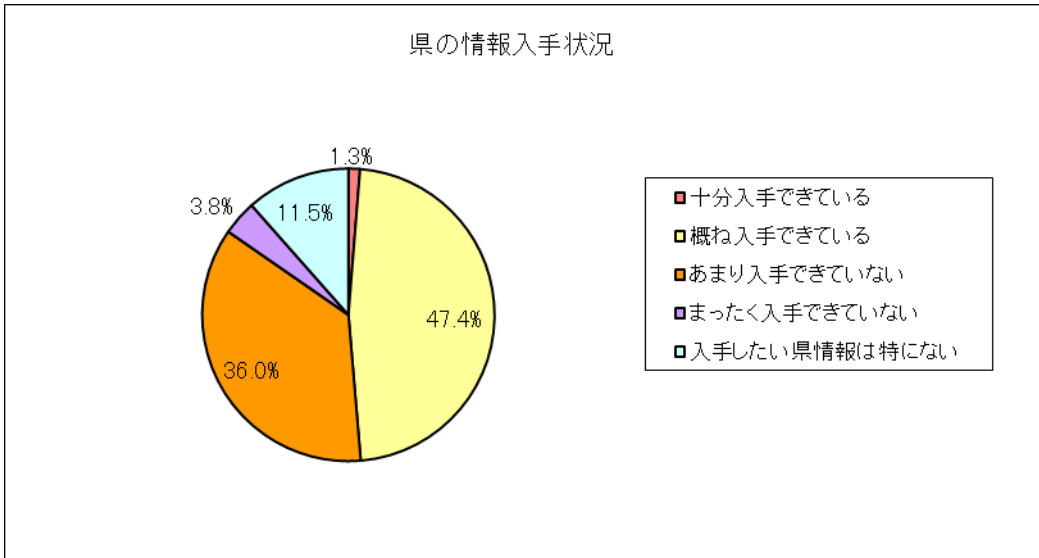
これからも、県政に関する情報や課題などをわかりやすく伝えることができるよう、県政だよりの魅力の向上に取り組んでいきたいと考えています。

また、県民の皆さんの情報入手手段が多様化していることから、より効果的に広報活動を実施するため、県政だより、新聞、テレビ・ラジオ、インターネットなどさまざまな媒体の特性を生かしながら、適時・適切に情報発信していきます。



【設問 2】県の情報入手状況について

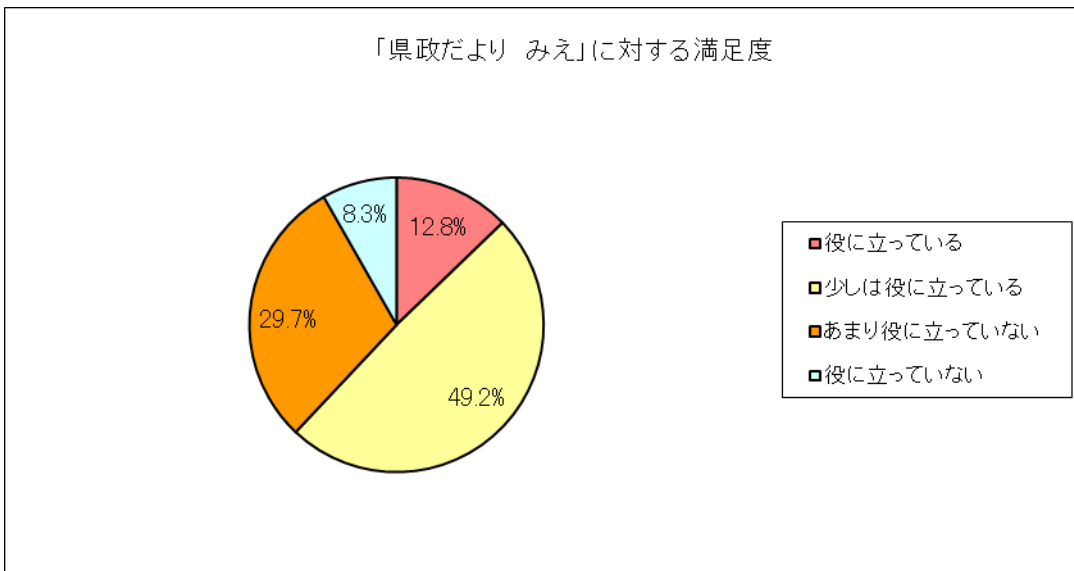
得たい県の情報について「十分入手できている」、「概ね入手できている」を選択した方は、合わせて 48.6% (342 人) となっている一方で、39.8% (280 人) の方は「あまり入手できていない」「まったく入手できていない」と感じておられます。県民の皆さんに県政情報を的確にお届けできるよう、さまざまな媒体の特性を生かし、新しい広報手段も検討しながら、より積極的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。



【設問3】「県政だより みえ」に対する満足度について

「県政だより みえ」の有用度についてお尋ねしたところ、「役に立っている」方が 12.8%、「少しは役に立っている」方が 49.2%で、合わせて 62.0%となっています。

約6割の方から評価していただいておりますが、この評価を少しでも高められるよう紙版、データ放送版とも掲載内容の充実などに今後も努めていきます。



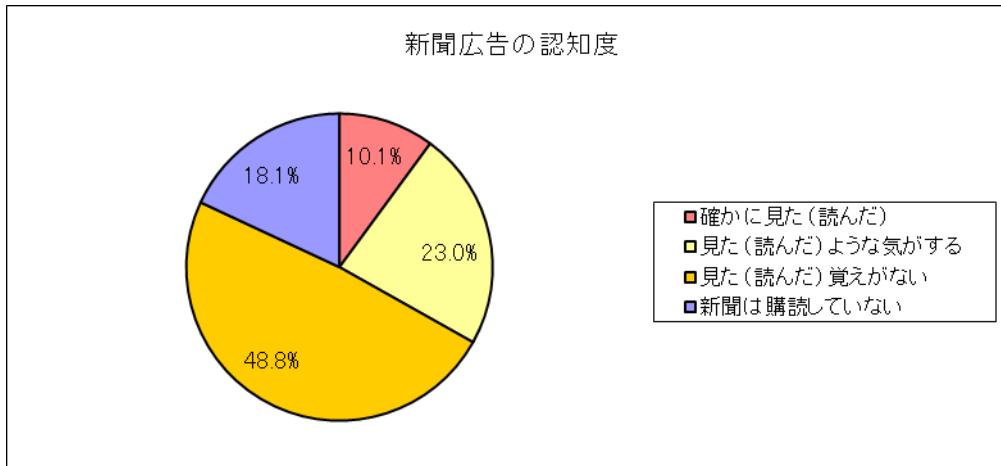
【設問4】新聞広告「広報みえ」の認知度について

県が発信する新聞広告の認知度については、「確かに見た」「見たような気がする」を合わせると 33.1% (233人) となっています。

また、年代別に分析すると「確かに見た」「見たような気がする」をあわせると、20代では 20.3%、30代 29.6%、40代 26.8%、50代 33.5%、60代 44.4%、70代以上 58.6%

と概ね年代が高くなるにつれて、新聞広告の効果が高いことが確認できます。

今後は、新聞広告「広報みえ」を「確かに見た」人の割合を高めるため、広告そのものが印象に残るような内容やレイアウトにしていく必要があります。

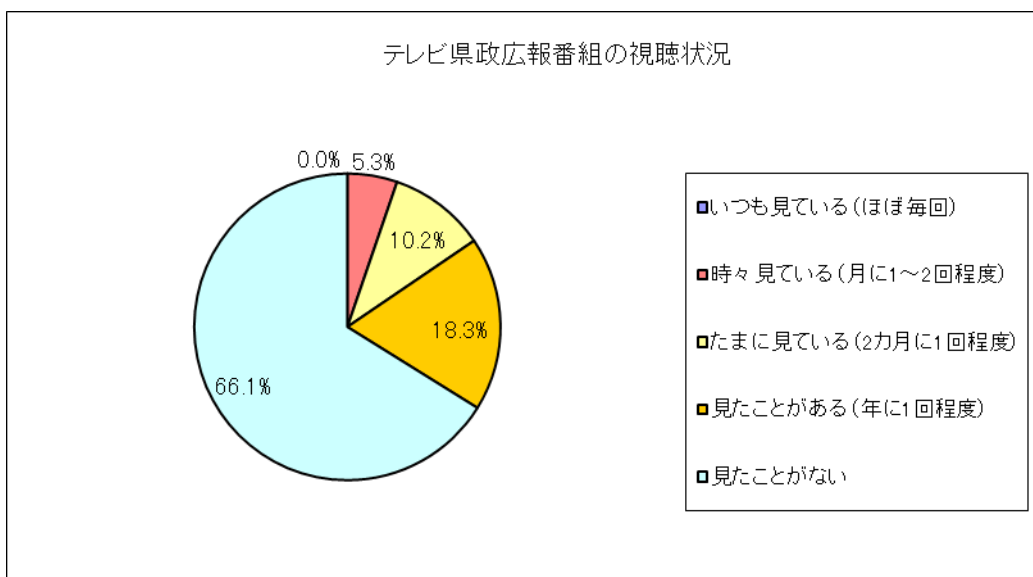


【設問5】 テレビ県政広報番組の視聴状況について

テレビ県政広報番組「県政チャンネル」については、「いつも見ている」「時々見ている」人の割合が全体で5.3%（37人）となっています。

また、年代別に分析すると「いつも見ている」「時々見ている」人をあわせると、20代では2.9%、30代2.2%、40代5.4%、50代4.4%、60代9.0%、70代以上10.3%となり、50代までの人と60代以上の人とでは、数値に大きな違いが表れています。

今後も各世代に見てもらえるような番組制作に心がけるとともに、「県政だより みえ」や県ホームページとの連動や、番組そのものの広報、放送時間帯なども検討する必要があります。

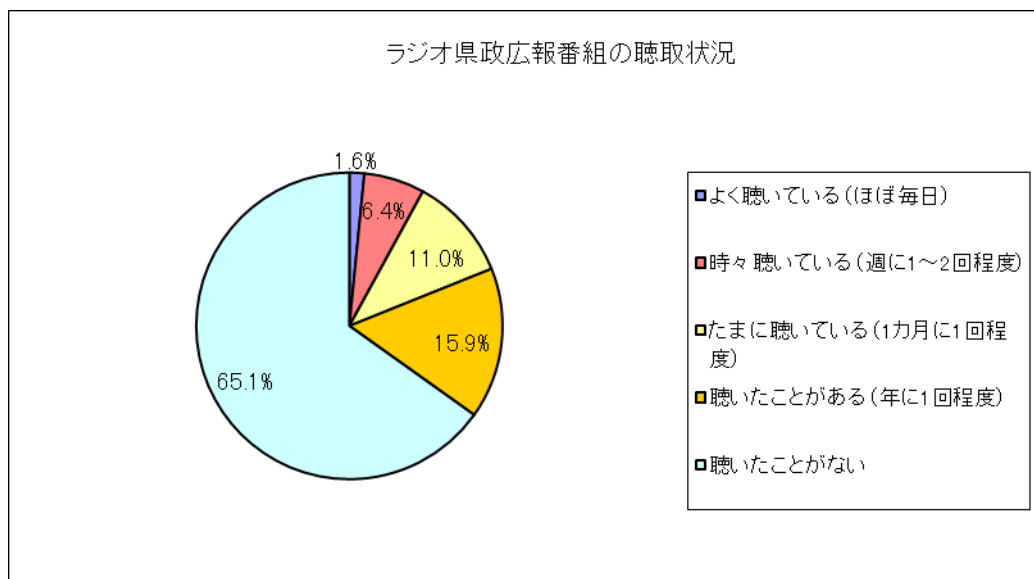


【設問6】ラジオ県政広報番組の視聴状況について

FMとAMで放送しているラジオ県政広報番組については、「よく聴いている」「時々聴いている」人の割合が全体で8.0%（56人）となっています。

また、年代別に分析すると「よく聴いている」「時々聴いている」人をあわせると、20代では2.9%、30代5.9%、40代10.1%、50代10.1%、60代6.9%、70代以上10.3%となり、30代から50代まではテレビよりも数値が高くなっています。

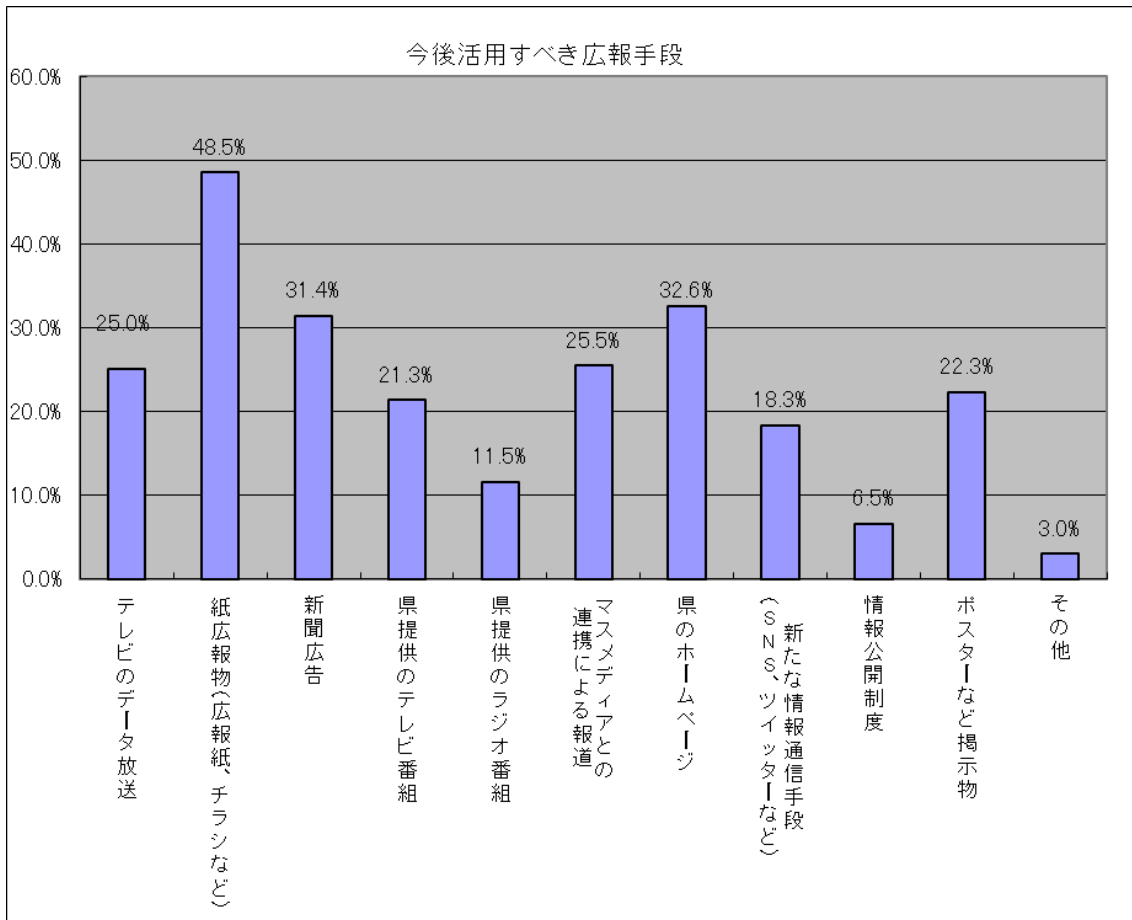
ラジオは家の中だけでなく車内で聴かれる方も多いことから、ラジオに適した番組制作に心がけるとともに、番組そのものの広報、放送時間帯なども検討する必要があります。



【設問7】今後活用すべき広報手段の検討について

今後、充実をはかるべき県の情報提供の方法については、「紙広報物（広報紙、チラシなど）」が48.5%と最も多く、次いで「県のホームページ」が32.6%となっています。そのほかにも「新聞広告」、「報道機関などマスメディアとの連携による報道」、「テレビのデータ放送」、「ポスターなど掲示物」、「県提供のテレビ番組」がいずれも20%を超えるなど、県民の皆さんがさまざまな広報手段を活用している状況にあります。

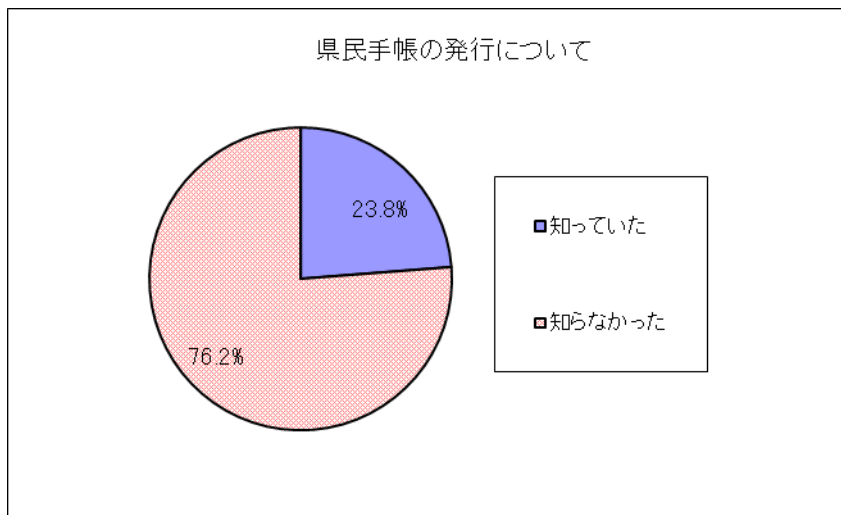
これらのことから、県民の情報入手に関するさまざまなニーズに対応し、インターネットや地上デジタル放送の活用なども含め、新しい時代に対応した多様な広報手段による情報発信に努めていきたいと考えています。



【設問 8】 県民手帳の発行について

平成 26 年 11 月に「三重県民手帳」が 10 年ぶりに発行されたことについて、「知っていた」と回答された人が 23.8%、「知らなかった」と回答された人が 76.2%となっています。

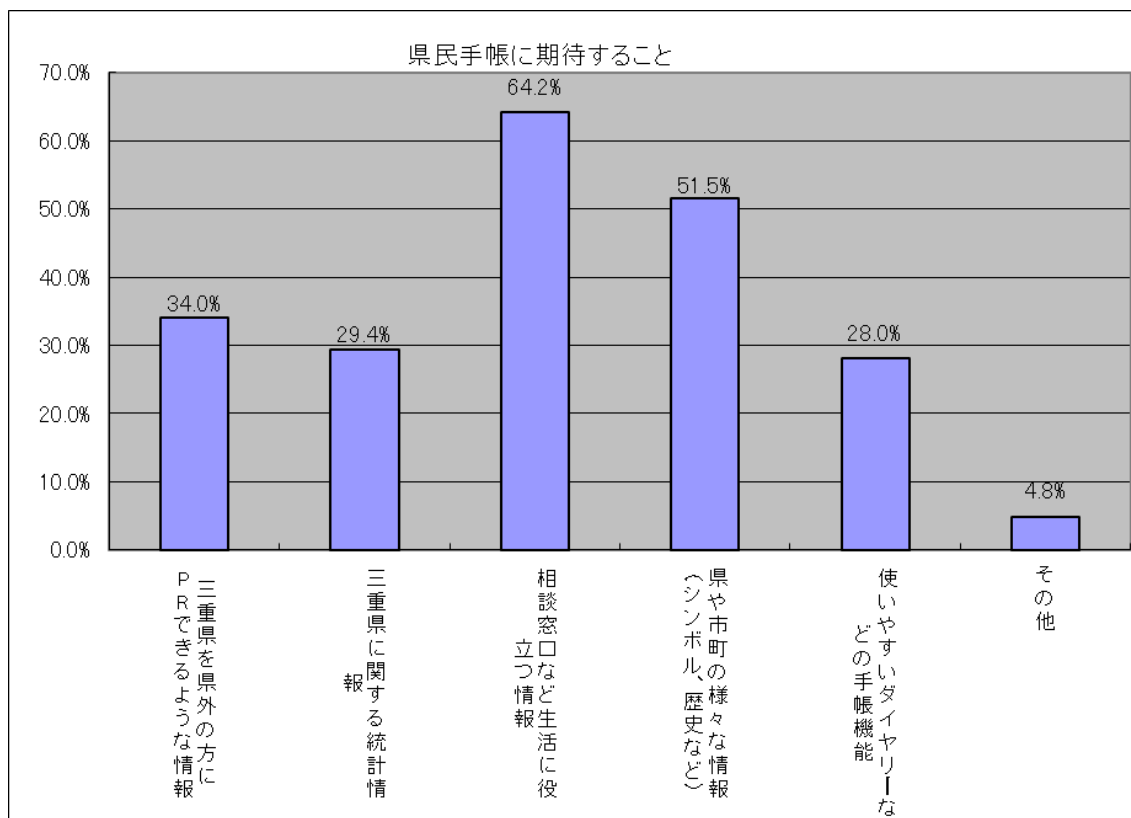
三重県民手帳を広報ツールとして活用するとともに、手帳の認知度の更なる向上に努めていきます。



【設問9】 県民手帳に期待することについて

「三重県民手帳」に期待する機能や情報の掲載をお聞きしたところ、「相談窓口など生活に役立つ情報」が 64.2%、「三重県や県内の市町についてより深く知ることのできる様々な情報」が 51.5%、「三重県を県外の方に PR できるような情報」が 34.0%などとなっています。

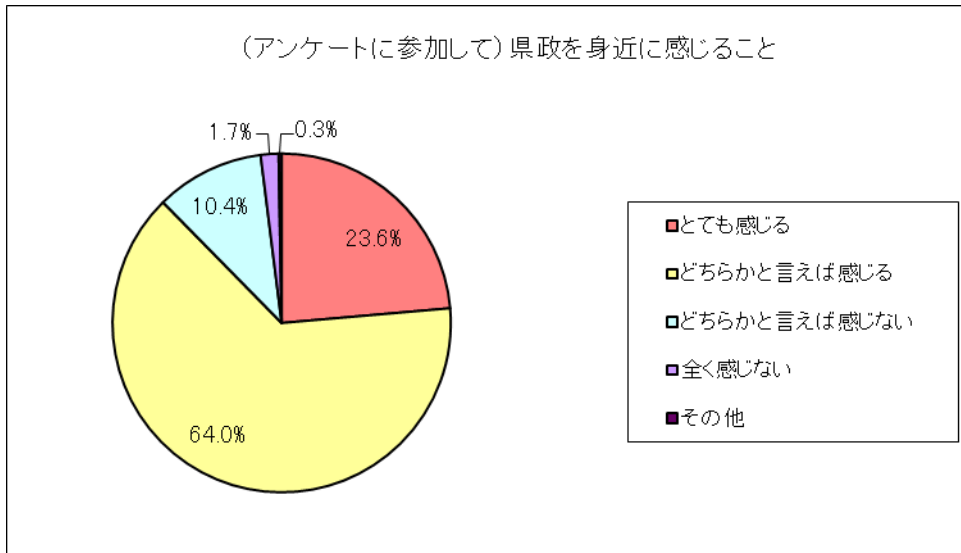
県民手帳に対するさまざまな期待・ニーズに対応するため、三重県に関する魅力的な情報を掲載していきたいと考えています。



【設問10】 e-モニターアンケートに参加して感じたことについて

e-モニターアンケートに参加して、県政を身近に感じるようになったかをお尋ねしたところ、「とても感じる」「どちらかと言えば感じる」方が、87.6%となり、ほとんどの方に県政を身近に感じるようになったとお答えいただきました。

引き続き、e-モニターアンケートを通じて、県政を身近に感じていただけるよう努めてまいります。



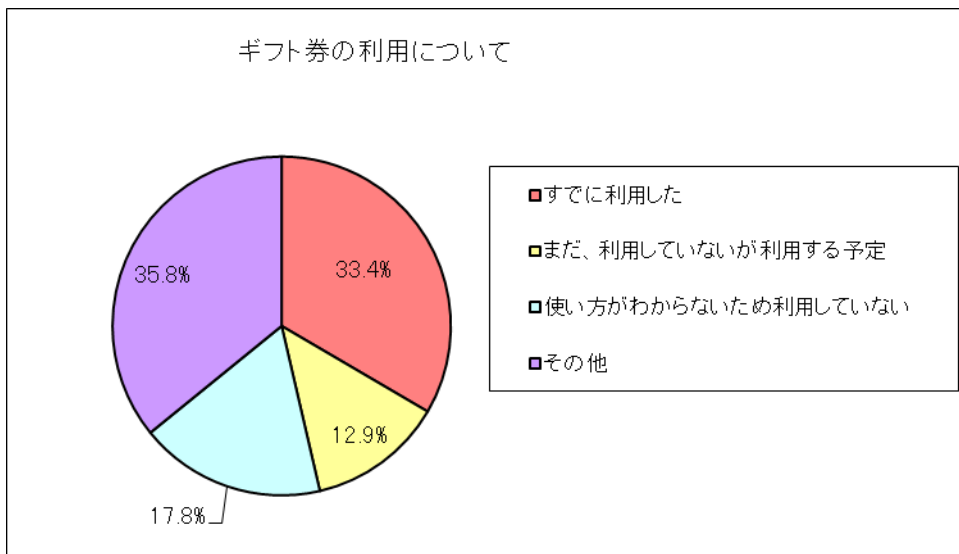
【設問 11】 ギフト券の利用について

ギフト券として送付したオンラインギフト券の利用状況についてお聴きしたところ、「すでに利用した」を選択された方は 33.4%でした。

また、「まだ、利用していないが利用する予定がある」を合わせると 46.3%となり、約半数の方に利用いただいている、もしくは、利用いただく予定であることが確認できました。

一方「使い方がわからないため利用していない」が 17.8%でした。

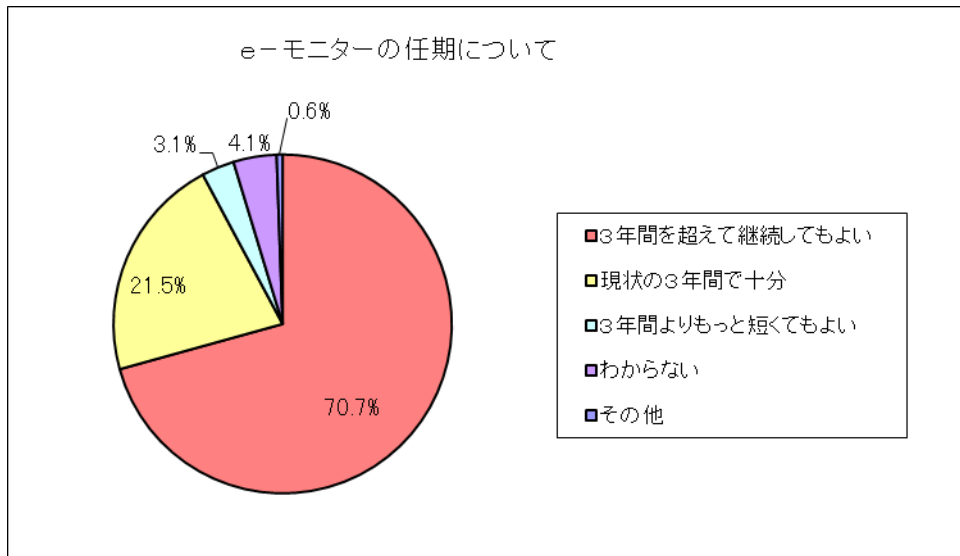
より多くのモニターの皆様にはオンラインギフト券を利用していただけよう、e-モニターメールマガジンやHP等で分かりやすくご利用方法をご紹介できるよう、努めてまいります。



【設問 12】 e-モニターの任期について

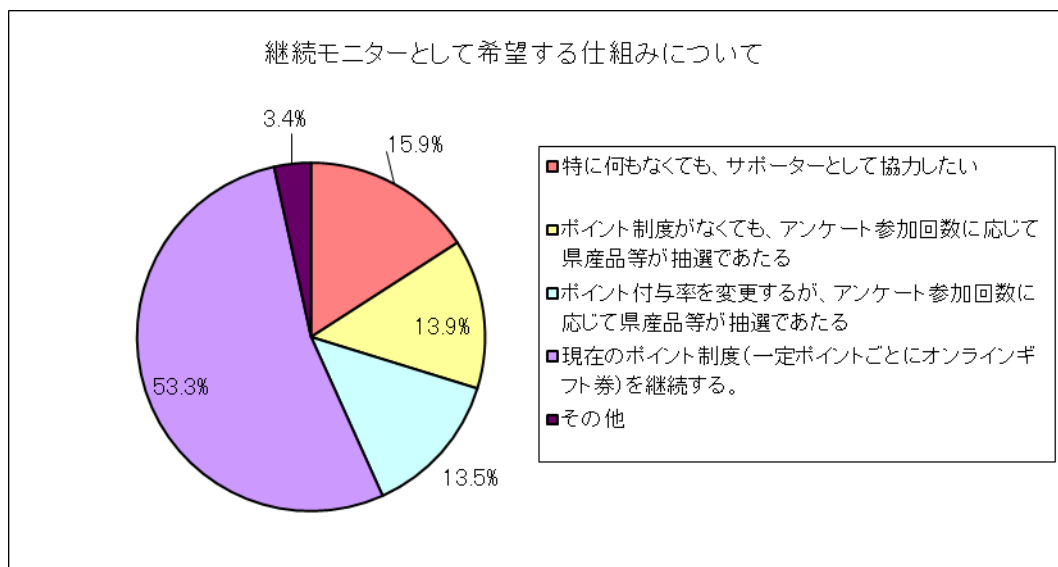
来年度以降のe-モニター制度の参考とするため、e-モニターの任期についてお聴き

したところ、「3年を超えてモニターを継続してもよい」を選択された方が70.7%で一番多く、次いで「現状の3年間で十分である」が21.5%でした。



【設問 13】 3年間の e-モニター終了後の継続モニターについて

設問 12 で、「3年を超えてモニターを継続してもよい」と回答いただいた方（497人）に、3年間の e-モニター終了後の継続モニターについて、どのような仕組みがあればいいかお聴きしたところ、「現在のポイント制度を継続する」を選択された方が53.3%で一番多く、次いで「特に何もなくても、サポーターとして協力したい」が15.9%（79人）、「現在のポイント制度はなくなるが、アンケート参加回数に応じて三重県産品などが抽選で当たる」が15.9%（69人）でした。



設問 12・13 の回答結果を踏まえ、平成 27 年度からは、モニター任期を終了された皆様にも e-モニターメールマガジンの配信を開始させていただきました。様々な県政情報を盛り込んだメールマガジンを読んでいただくことで、任期終了後も引き続き県政へ関心を

持っていただけるよう、努めてまいります。

【設問 14】 e－モニターアンケートに対するご意見（自由回答）

設問 14 では、e－モニターアンケートに参加して感じたことを自由にお答えいただきました。

ご意見は、331 名の方からいただき、1 件 1 件確認させていただきました。本当にありがとうございました。

その中で、多くの方から「アンケートシステムログインの手順を簡便化してほしい」との旨のご意見をいただきました。今後、モニターの皆様にとって少しでも回答しやすいシステムとなるよう、検討しております。

また、「つい「後で」と思うと回答し忘れてしまうので、期限の前にもう一度連絡をしてほしい」とのご意見を踏まえ、アンケート期限前に未回答の方へ 1～2 回メールを送らせていただいております。

その他いただきましたたくさんのご意見・ご提案につきましても、今後 e－モニターがより利用しやすくなり、より県政へのご意見をお聴きできるようにしていくため、参考とさせていただきます。

本年度も、e－モニターアンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。